

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	障がい者ホームヘルパー派遣事業			事業コード	0367
担当課等	所属名	保健福祉部 障がい福祉課	担当係名		
	課長名	保健福祉部 障がい福祉課	担当者名	保健福祉部 障がい福祉課	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	共に歩む障がい者福祉の実現	コード 3
	基本事業	障がい者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 2目 障がい者ホームヘルパー派遣事業(005-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 58年度～)					
事務事業の概要	在宅生活をしている障がい者に対し、自立支援法に基づき、居宅介護サービスを行う事業					
根拠法令等	障害者自立支援法、盛岡市指定訪問介護事業所運営規定					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法により、障がい者に対し、ホームヘルプサービス支援をする直営事業であったが、平成18年4月から障害者自立支援法に基づく居宅介護事業所に移行。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
介護福祉士の資格を持つ経験豊富なヘルパーが訪問し、利用者から高い評価を得ている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか						
通常のサービスのほか、市の直営事業所であるため、障害者自立支援法による制度やサービスや手続きについても相談に応じている。困難ケースについては、生活福祉課などとの連携をし、対応している。そのほか、介護福祉士による相談など、福祉の隙間を埋めるサービスを行っている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	居宅介護サービス支給決定を受けた者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 居宅介護サービス受給者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 居宅介護サービス受給者の申請により、家庭訪問等を行い、介護計画を作成する。介護計画に基づき契約を行い、市直営事業所がホームヘルパーを派遣し、サービスを提供する。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 利用者数	単位	人
				B. 派遣時間数	単位	時間
				C. 派遣回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	日常生活を営むことが困難な障がい者のいる世帯にホームヘルパーを派遣し、身体介護・家事援助を行うことにより、在宅の障がい者が安心して生活を営む。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 利用者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	人
				B. 派遣時間数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	時間
				C. 派遣回数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	回
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	社会参加の促進が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	就労している障がい者割合(障がい者アンケート)(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	居宅介護サービス受給者数	人	267	294	300	339	339	339	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	利用者数	人	34	28	28	27	27	27	年度
活動 指標B	派遣時間数	時間	2927	2232	2300	1816	1900	1900	年度
活動 指標C	派遣回数	回	1601	1348	1348	1348	1350	1350	年度
成果 指標A	利用者数	人	34	28	28	27	27	27	年度
成果 指標B	派遣時間数	時間	2927	2232	2300	1816	1900	1900	年度
成果 指標C	派遣回数	回	1601	1348	1400	1348	1350	1350	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	15,319	12,611	12,226	11,330	11,859	11,859	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	8,062	7,018	6,046	7,044	6,807	6,807	*****
	⑧その他	千円	7,257	5,593	6,180	4,286	5,052	5,052	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	15,319	12,611	12,226	11,330	11,859	11,859	*****
	延べ業務時間数	時間	500	400	400	400	400	400	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,000	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,319	14,211	13,826	12,930	13,459	13,459	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 居宅介護サービスの提供により安心できる暮らしに繋がる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 困難ケースや不定期の訪問など、民間では対応が難しい利用者に対応しており妥当である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 自立支援法に基づき、支援の必要な障がい者に対しサービスを提供しているため妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 適正なサービスを提供しており妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: ケアマネージャーが自立支援法制度として配置されていないので、介護保険利用者以外についてサービスの管理を行い、良好なサービスを提供する。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: サービス提供が困難になる障がい者が出る可能性がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 民間の同種サービス提供事業所 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 連携を図りながらサービス向上に努めている。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 非常勤職員人件費ほか必要最小限の費用で運営している。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 退職者不補充で、勤務時間の範囲内で事業を行っている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 支援が必要な人に対し、必要なサービスを適正に提供しており妥当である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 障害者自立支援法により定められた利用者負担額について受益者が負担している。低所得者には減免手続きを勧め、法律に基づいた負担をしており妥当である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 困難ケースに対応すると共に、障がい者ケアマネージャーとして利用者のサービス管理に努める。在宅生活の相談や技術指導などからだが不自由な方や家族への支援も継続して行う。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 非常勤職員であり、主に日中のサービスを提供している。需要の多い朝夕ヘルプサービスの希望に答えるためには、勤務時間の見直しが必要となる。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 支援を必要とする人達にサービスを適正に提供してきているが、需要への柔軟な対応について、更に検討を要する。											
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										
													
方向付けの理由と改革改善の内容 需要が多い朝夕への対応等、限られた人員ではあるが、ヘルプサービスについて柔軟な対応を検討する。													